

2. 小地域での福祉活動の推進・強化

福祉教育・防災教育などの学びの場を、地域住民でもある当事者と地域住民が出会い・知り合う機会ととらえそれぞれの課題や悩みを地域住民一人ひとりの「我が事（ごと）」と考えその生活課題に「丸ごと」として対応できる地域共生社会^{*}をめざし、地域の各種団体や関係機関と連携し、小地域福祉活動計画の策定や小地域福祉活動を進めました。

(1) 小地域福祉活動計画に基づく計画的・効果的な活動推進

実績

北区では、地域社会福祉協議会を中心に「小地域福祉活動計画」を9地域、策定しました。

◇小地域福祉活動計画策定に向けた住民交流会の開催

各交流会ではワークショップにより、住民の意見や地域の課題を共有しました。区社協・区役所の職員が意見交換の進行やファシリテーター^{*}を担い、学識経験者がアドバイザーとして参加しました。

| 地域名 | 開催回数 | 開催場所 | 参加者数 | アドバイザー | 策定計画名称 |
|-----|--------------------|-----------------|------------|---------------------|----------------------|
| 豊崎 | 10回 (平成25～26年度) | 豊崎会館 | 39名 | 関西学院大学 講師 岩本裕子氏 | 豊崎ええとこプラン |
| 北天満 | 8回 (平成26～27年度) | もと北天満 小学校講堂 | 65名 | 関西学院大学 講師 岩本裕子氏 | 北天満 グリーンネットプラン |
| 中津 | 11回 (平成26～27年度) | 中津福祉会館 | 26名 | 大阪市立大学院 講師 鶴浦直子氏 | みんながつながる 中津プラン |
| 豊崎東 | 8回 (平成27年度) | 豊崎東会館 | 46名 | 大阪市立大学院 講師 鶴浦直子氏 | 豊崎東スマイルプラン |
| 大淀東 | 7回 (平成27～28年度) | 中三会館 | のべ 22名 | 大阪教育大学 准教授 新崎国広氏 | 大淀東 熱血ほっこりプラン |
| 大淀西 | 8回 (平成28年度) | 大淀福祉会館 | のべ 203名 | 大阪市立大学院 講師 鶴浦直子氏 | 大淀西ニコニコプラン |
| 梅田東 | 7回 (平成28年度) | 梅田東 コミュニティ会館 | のべ 117名 | 大阪教育大学 准教授 新崎国広氏 | 梅田東リングリング つながりプラン |
| 本庄 | 11回 (平成29～30年度) | 本庄会館 | のべ 174名 | 関西国際大学 講師 岩本裕子氏 | 本庄アイリスプラン |
| 済美 | 8回 (平成29～30年度) | 済美福祉 センター | のべ 204名 | 大阪市立大学院 講師 鶴浦直子氏 | 済美ふるさとプラン |

^{*}地域共生社会：厚生労働省による改革の基本コンセプト。制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、住民の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をめざすもの。

^{*}ファシリテーター：効率的かつスムーズな会議を実現するための進行役。

◇小地域福祉活動計画策定地域の活動振り返り会の開催と計画推進

・振り返り会の開催

前年度までに計画を策定した地域において活動の振り返り会を開催し、活動の進捗状況や今後の課題について共有しました。

| | |
|----------|------------------|
| 平成 28 年度 | 豊崎地域・北天満地域・豊崎東地域 |
| 平成 29 年度 | 豊崎地域・大淀西地域 |
| 平成 30 年度 | 中津地域・大淀西地域 |

・計画の推進

小地域福祉活動計画の策定により、地域の実情に応じたさまざまな取り組みが行われてきました。

| | |
|--------|--|
| 取り組みの例 | <ul style="list-style-type: none"> ・「福祉資源マップ」作成 ・写真展の開催や冊子作成 ・子どもの居場所や認知症カフェ等さまざまな居場所づくり ・地域ぐるみの「あいさつ運動」など |
|--------|--|

◇地域福祉活動の担い手に対する研修会の開催

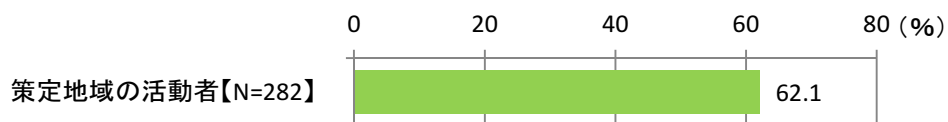
地域社協の役員・地域福祉活動の担い手等を対象に、地域福祉活動に関する研修会を開催しました。また、住民主体の福祉のまちづくりの推進に向けて、小地域福祉活動計画の策定を支援しました。

| | 小地域福祉プラン報告会 | 小地域福祉プラン報告会 |
|------|---|--|
| 開催日 | 平成 28 年 3 月 25 日（金） | 平成 29 年 3 月 17 日（金） |
| 実施場所 | 市立住まい情報センター | 市立住まい情報センター |
| 参加者数 | 105 名 | 80 名 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講演 大阪市立大学院 講師 鶴浦直子氏 ・4 地域（北天満・中津・豊崎東・大淀東）からの実践報告 ・ミニシンポジウム | <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講演 大阪教育大学 准教授 新崎国広氏 ・3 地域（大淀東・大淀西・梅田東）からの実践報告 ・ミニシンポジウム |

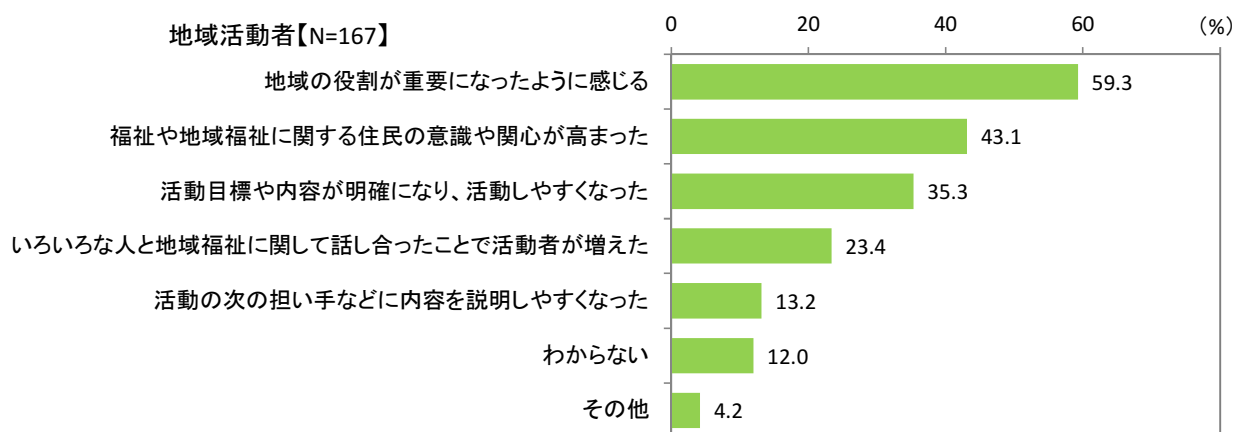
| | | |
|------|---|--|
| | 「地域とは何なのか？」地域力を知る」 | 「地域力！私たちが築く”北区”の未来」 |
| 開催日 | 平成30年3月2日（金） | 平成31年3月1日（金） |
| 実施場所 | 北区民センター | 北区民センター |
| 参加者数 | 140名 | 110名 |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講演 大阪市立大学院 准教授 野村恭子氏 ・”地域力を知る”これまでの振り返り ・専門職と地域住民が共に協力していくことの効果についてのワークショップ ・小地域福祉活動計画発表会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ講演 大阪市立大学院 講師 鶴浦直子氏 ・”地域力を知る”これまでの振り返り ・専門職と地域住民が共に協力していくことの効果についてのワールドカフェ ・小地域福祉活動計画発表会 |

地域活動者へのアンケートでは、策定地域における、小地域福祉活動計画の認知度が62.1%となっています。また、策定により、「地域の役割が重要になったように感じる」、「福祉や地域福祉に関する住民の意識や関心が高まった」、「活動目標や内容が明確になり、活動しやすくなった」といった効果が表れています。

図表 29 策定地域における小地域福祉活動計画の認知度



図表 30 小地域福祉活動計画に対する評価



課題と方向性

- ・小地域福祉活動の目的を理解し、展開するとともに、新たな担い手へ活動の趣旨や内容等の理解促進に「小地域福祉活動計画」を活用していきます。
- ・計画の振り返りや地域でのPDCAによる進捗管理の支援を継続します。
- ・計画策定の有無に関わらず、各地域における福祉課題の発見や共有化を図るための「話し合い・気づき」の場づくりを進めます。

(2) 地域での居場所づくりの充実

実績

各地域では小地域福祉活動計画等に基づき地域の実情に合わせたさまざまな居場所づくりが行われてきました。また、小地域のエリアを超えた新たな居場所や多様な当事者同士のつながりから生まれた居場所等が展開されています。

(さまざまな居場所)

| | |
|----------------------|--------------------|
| ・ふれあい喫茶※ (16 か所) | ・高齢者食事サービス (14 か所) |
| ・認知症カフェ (7 か所) | ・百歳体操※ (19 か所) |
| ・はつらつ脳活性化教室※ (14 か所) | ・子育てサロン (16 か所) |
| ・子どもの居場所(3 か所) | ・子ども食堂 (9 か所) ※ など |

箇所数は令和元年 12 月末現在。ただし、「子ども食堂」は区社協で把握しているものに限る。

- ・小地域福祉活動計画策定等を通じて地域のニーズを把握し、居場所づくりにつなげることができた。

◇子どもの居場所づくり事業

| | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|-----------------|----------|----------|----------|
| 箇所数 | 1 か所 | 2 か所 | 3 か所 |
| 参加者数 (子ども) | 9 | 20 | 44 |
| のべ参加者数 (子ども) | 325 | 550 | 911 |
| 参加者数 (保護者) | 5 | 11 | 18 |
| のべ参加者数 (保護者) | 41 | 102 | 154 |
| 参加者数 (ボランティア) | 26 | 35 | 17 |
| のべ参加者数 (ボランティア) | 311 | 518 | 271 |

◇「子どもの居場所」「こども食堂」担当者交流会開催

支援団体の横のつながりや情報共有の場づくりの一環として、担当者交流会を開催した。

| | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|------|------------------|-----------------|
| 開催日 | 平成 29 年 7 月 13 日 | 平成 31 年 1 月 9 日 |
| 開催場所 | 北区在宅サービスセンター | |
| 参加者数 | 22 名 | 10 名 |
| 内容 | 各団体の事業紹介と交流 | 各団体の事業紹介と現状報告 |

※ふれあい喫茶：住民同士のふれあいを目的とした地域住民のボランティアによる喫茶。

※はつらつ脳活性化教室：「頭を使う」「体を整える」「心を動かす」の 3 要素を、バランスよく無理なく、効果的に実施していく認知症予防プログラム。

※百歳体操：手首足首におもりをつけ、DVD を観ながらゆっくりと手足を動かす筋力づくり運動のこと。

※こども食堂：地域のボランティア等が子どもたちに対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取り組み。

◇ミニシンポジウム開催

生活困窮者支援に関するシンポジウムにおいて、北区における子どもの居場所づくりの紹介を行い、子どもの支援についての理解を深めた。

| | |
|------|-------------------------------------|
| | ミニシンポジウム「北区における実践」 |
| 開催日 | 平成 28 年 7 月 29 日（金） |
| 実施場所 | 市立住まい情報センター |
| 内容 | ・子どもの居場所「なごみのうつわ」や、こども食堂の取り組みについて紹介 |

課題と方向性

- ・第 1 期計画のもと新たな居場所が展開されています。既存の居場所と新たな居場所、また、これから、新たに居場所の開催をめざしている地域や各種団体・個人への支援を継続していきます。
- ・多様な当事者等が、自発的に居場所づくりが行えるよう。さまざまな情報発信や環境づくりを進めていきます。
- ・区役所からの地域情報発信を強化していきます。

